

2022年度 東広島市教育委員会主催・広島大学マスタース共催市民講座

「楽しいドイツ語入門：前期」実施報告

広島大学マスタース会員 吉田 光演

市民講座「楽しいドイツ語入門：前期」（7月9日、16日、23日、30日の各土曜日、13:30～15:00の計4回、7月23日のみ郷田地域センター、他3回はくらは研修室）を実施しました。「ドイツの主要都市をテーマに、ドイツ語の発音、文法の初歩を修得しながら簡単な会話を学ぶ」という趣旨で、テキストには『アンファング-ドイツの街へ』（第三書房）を用いました。受講者は14名で、昨年秋の「楽しい入門ドイツ語 II」を受講された方が10名おられました。

初学者の方、学習経験のある方、ドイツ滞在経験のある方など、受講者のドイツ語の知識はさまざまでしたが、順番に受講者に質問していく、レベルの高い人には積極的に発言してもらい、それを全体で確認して一斉練習するなど、全員が参加できる形で進めていきました。最初に、発音のポイントを確認し、短い会話テキストを読んで復唱し、ドイツ語の質問も交えて会話の内容をチェックする、重要表現を覚える、CDの音声を用いて聞き取りを行う、それらを通じてドイツ語が自然に口に出てくるように会話練習を行いました。各課ごとに一つの街を巡る形になっていて、フランクフルト、ハイデルベルク、フライブルク、ウルムの4つの街を扱いました。やや高度な語彙を含む読み物もあり、ドイツの歴史や文化についても触れる機会がありました。中でも、ハイデルベルクは観光などで実際に訪れたことがある人が多く、ドイツで最も古い大学があること、古城や哲学者の道などの話題で盛り上がりました。ハイデルベルクの街並みの映像や、ドイツ鉄道(DB)の車窓から Schwarzwald（黒い森）を眺めながらフライブルクの街を訪れるといった場面の映像を提示することで旅の臨場感が出るように工夫しました。

挨拶、自己紹介、レストランやカフェでの飲食の会話、買い物、列車旅行などの会話などのテーマを取り上げ、簡単ながらもドイツ語圏を旅する際に役立つ内容になったと思います。文法については、2人称の敬称 Sie と親称 du の使い分け、規則動詞、不規則動詞の変化、名詞の性と冠詞などを説明し、初歩的レベルでしたが、具体的な文例で練習を行いました。「ドイツ語文法は難しい」というイメージがありますが、受講者は非常に熱心に取り組んでいました。

わずか4回では物足りないでしょうが、それなりに楽しみながらドイツ語に触れていただけたのではないかと思います。「楽しいドイツ語入門：後期」では、ミュンヘンやニュルンベルクなど、他の街についてさらに紹介していく予定です。